

T S C ニュース 増刊

(「サッカー」って??? 3)

スポーツならどんなスポーツでも「ルール」があります。簡単なルールのスポーツもあれば難しいルールのスポーツもあります。しかし、そのルールを知っていて観戦するとずっとずっと楽しいですよええ！プレーするともっと楽しいですよええ！ ということで今回は「サッカーのルール(競技規則)」です！

サッカーは他のスポーツに比べてルールが少ないので、世界中で愛され、世界中に広まっているとも言われています。このサッカーのルールは「Laws of the Game」(日本では「サッカー競技規則」と訳している)と言われ、国際サッカー連盟(FIFA)から発行されています。これがすべての基になっています。さて、その中身とは？

第1条：競技のフィールド	第10条：得点の方法
第2条：ボール	第11条：オフサイド
第3条：競技者の数	第12条：ファウルと不正行為
第4条：競技者の用具	第13条：フリーキック
第5条：主審	第14条：ペナルティーキック
第6条：副審	第15条：スローイン
第7条：試合時間	第16条：ゴールキック
第8条：プレーの開始及び再開	第17条：コーナーキック
第9条：ボールのインプレー 及びアウトオブプレー	

以上の17項目からなっています。では簡単にその内容を紹介してみましょう！

その前に・・・ここに書かれている内容は次の人達には該当しません。16歳未満の競技者、女子、35歳以上及び障害のある競技者。この人達がサッカーをする時にはグラウンドの大きさやボールの大きさ・重さ・材質、試合時間、交代についてなどなど修正を加える事が出来ます。

それではまず第1条～第3条まで。ここではグラウンドの広さやゴール、ボールの大きさ、競技者の人数などが書かれています。以下に簡単に比較してみました。

	フィールド	ゴール	ボール	人数
高校生以上	90～120m× 45～90m	高:2.44m×幅:7.32m	5号球	11人
小学生(高)	80m×50m	高:2m×幅:5m	4号球	11人

W杯やオリンピック、Jリーグなどで使用されるスタジアムのフィールドは長さが

10.5 m、幅が6.8 mとされています。ラインの幅は1.2 cm以下、ゴールは白色です。競技者は11人でそのうち1人はゴールキーパーでなければなりません。7人未満の場合は試合が出来ません。ゴールキーパーが退場や負傷でいなくなってしまう場合にはDFやFWなど他のポジションの人がGKをしなければなりません。また、8人やっと集まり試合を開始できたが、2人退場になってしまった場合はその時点で試合は中止されます。その場合の試合結果は事前に決められた規則により決まります。小学生のカテゴリーでは近年“8人制”が推奨されるようになり、その大会も増えてきました。

ボールについても材質や重さ、空気圧など品質と規格が決められています。小学生は通常「4号球」を使用しますが、ボールに“FIFA承認、FIFA検定、国際試合ボール基準”または“日本サッカー協会検定球”などと書かれているボールを購入される事をお勧めします。これは、公式にテストを行い、条件を満たしていると言う事を示したものだからです。

次に第4条です。ここでは競技者の用具について書かれています。・・・そこで質問です！競技者が身につけなければならない基本的な用具5点は何でしょうか？

[答え]

- 1) ジャージまたはシャツ
- 2) ショーツ
- 3) ストッキング
- 4) すね当て
- 5) 靴



これはユニフォームの事ですよ

ストッキングで完全に覆う事

小学生は靴の底は固定式です！

(このことは競技規則には書かれていません)

- ・ゴールキーパーは他の競技者や主審、副審と区別をつく色にする事

試合の時にはこの5つを身につけなければなりません！ また、最近ではピアスや指輪、ネックレス、眼鏡などの着用もNGです。指輪が外せない人はテープを巻くなどして主審の承認を得ています。フェイスガードなども同様に試合前に承認を得ています。メガネの着用は基本的にはダメですが、小学生レベルでは本人・保護者・チーム関係者等が事故発生の場合にはその責任を全て負う事で着用を認めています。